

はじめてPro-faceをご使用いただくお客様へー

作画・設定の“基礎”がわかる

GP4100シリーズ クイックガイド

3.4型
超・小型プログラマブル表示器
GP4100シリーズ



GP4100シリーズのご紹介

GP4100シリーズは、3.4型サイズの小型プログラマブル表示器です。小型の工作機械や食品機械、包装機械、急速充電器用のモニタなどや、これまでプログラマブル表示器以外のデジタルカウンタ、デジタルスイッチ、メッセージ表示器を使用されていたお客様におすすめです。



小型でもきれいで見やすく操作しやすい。

- ・高解像度200×80ドット
- ・16階調グレースケール
- ・3色バックライト

GP-410*G



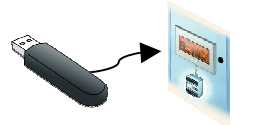
GP-410*W



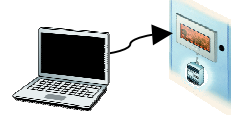
小型でも便利で使いやすい。

- ・USB Type A ×1
- ・USB mini B ×1
- ・シリアル ×1
- ※接続ドライバはWebを参照ください。

USBポート (Type A ×1) を標準搭載。USBメモリで画面転送できます。

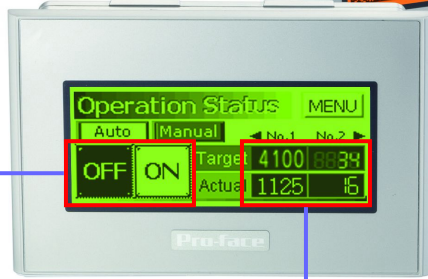


USBポート (mini B ×1) を標準搭載。表示器を経由してPLCのラダー編集ができます。(パススルー機能)

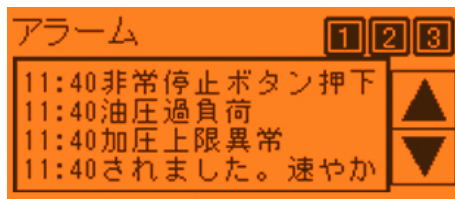


押しボタンスイッチ上の小さな文字銘板も見やすい。

複数の数値をひとつの画面で表示しても見やすい。



グラフ表示として、状況を視覚的に把握できます。



エラーメッセージ表示として、異常を正確に把握できます。



縦型表示器として、設置幅のせまいスペースでも使用できます。

目次

GP4100シリーズのご紹介	> 2	作画データをPCで動作確認 (シミュレーション)	> 12
画面作成ソフトウェアGP-Pro EXを入手するには?	> 3	GP4100シリーズへの画面転送	> 13
GP-Pro EXを使ってみよう!	> 4	操作盤へ設置する際の注意事項	> 14-15
テキスト入力と描画	> 5	GP4100シリーズ製品一覧	> 15
スイッチ・ランプを作画	> 6		
数値ディスプレイを作画	> 7		
装置の状態をわかりやすくグラフ表示	> 8		
エラーコードをメッセージで一覧表示	> 9-10		
作画をサポートする便利な機能	> 11		

>> さあ、実践してみましよう!
次のページから、GP4100シリーズの作画・設定方法の解説がはじまります。

画面作成ソフトウェアGP-Pro EXを入手するには？

GP4100シリーズの画面作成には、GP-Pro EX Ver.2.6以上が必要です。

GP-Pro EXでは、優れたユーザインターフェイスにより、すべての人に快適な操作性を実現しました。



GP-Pro EX Ver.2.0以上をお持ちの方は、無償アップグレードできます。

GP-Pro EXをお持ちでない、もしくは Ver.2.0未満の方は、GP-Pro EX Ver.2.6 Limited Editionをご利用いただけます。

Limited Edition

■ GP-Pro EX Ver.2.6 動作環境

OS 64ビットOSは対象外	Windows Vista (Ultimate、Home Premium、Home Basic、Business) Windows XP (Home Edition、Professional Edition) Windows 2000 (SP3以上)
CPU	Windows Vista : Pentium 4 1GHz以上 Windows XP、Windows 2000 : Pentium III 800MHz以上 (Pentium 4 1.3GHz以上推奨)
メモリ	Windows Vista : 1GB以上 (2GB以上推奨) Windows XP、Windows 2000 : 512MB以上 (1GB以上推奨)
ハードディスクスペース	720MB以上 (インストールするために必要なスペース)

GP-Pro EX Ver.2.6 Limited Edition とは、GP-Pro EX のライセンスなしで体験できるソフトウェアです。

Limited Edition



GP4100シリーズでは、画面転送可能なエディタとして、ライセンスキーコードなしで利用できます。サポートサイト「おたすけPro！」への会員登録（無料）を行うだけで、Webからダウンロードできます。

→ <http://www.proface.co.jp/otasuke/>

GP-Pro EX のインストール方法

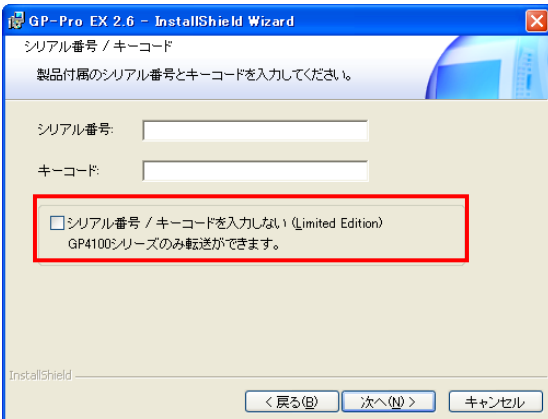


1. GP-Pro EXと転送ツールのインストール

インストーラを起動すると、SET UP MENUが表示されます。[GP-Pro EX]をクリックして、インストールを開始します。Limited Editionでは、シリアル番号とキーコードを入力する必要がありません。

GP-Pro EXをインストールした後、自動的に転送ツールのインストールを開始します。

転送ツールのインストール後、PCを再起動すると転送ツールが使えるようになります。



転送ツールだけのインストールもできます。



たとえば現場のPCには転送ツールだけをインストールすると、現場で画面データの編集を制限することができます。

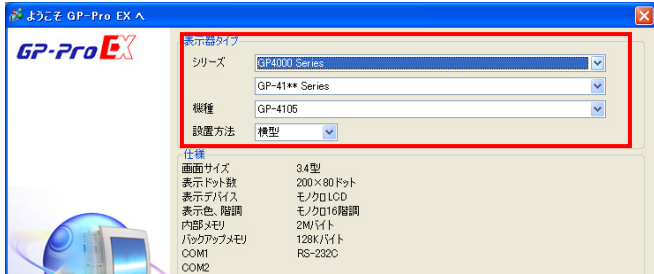
2. インストールの完了

PCのデスクトップ上にGP-Pro EXのショートカットアイコンが表示されたらインストール完了です。



GP-Pro EXを使ってみよう！

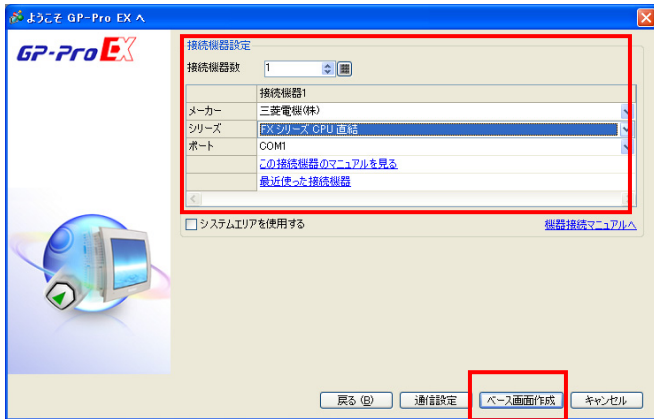
GP-Pro EXを使ってGP4100シリーズの設定と画面作成ができます。



1. GP-Pro EXの起動と初期設定

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックして、GP-Pro EXを起動します。最初に表示されるポップアップウィンドウから[新規作成]を選択して、表示器タイプと設置方法（縦型または横型）を指定します。

GP4100シリーズの画面作成には、次のとおり機種選択します。
 シリーズ: GP4000 SeriesからGP-41** Seriesを選択します。
 機種 : GP-4105またはGP-4106を選択します。



2. 接続機器の指定

接続機器を指定します。

最新版ドライバなどの詳しい情報は、Webサポートサイト「おたすけPro!」へ。

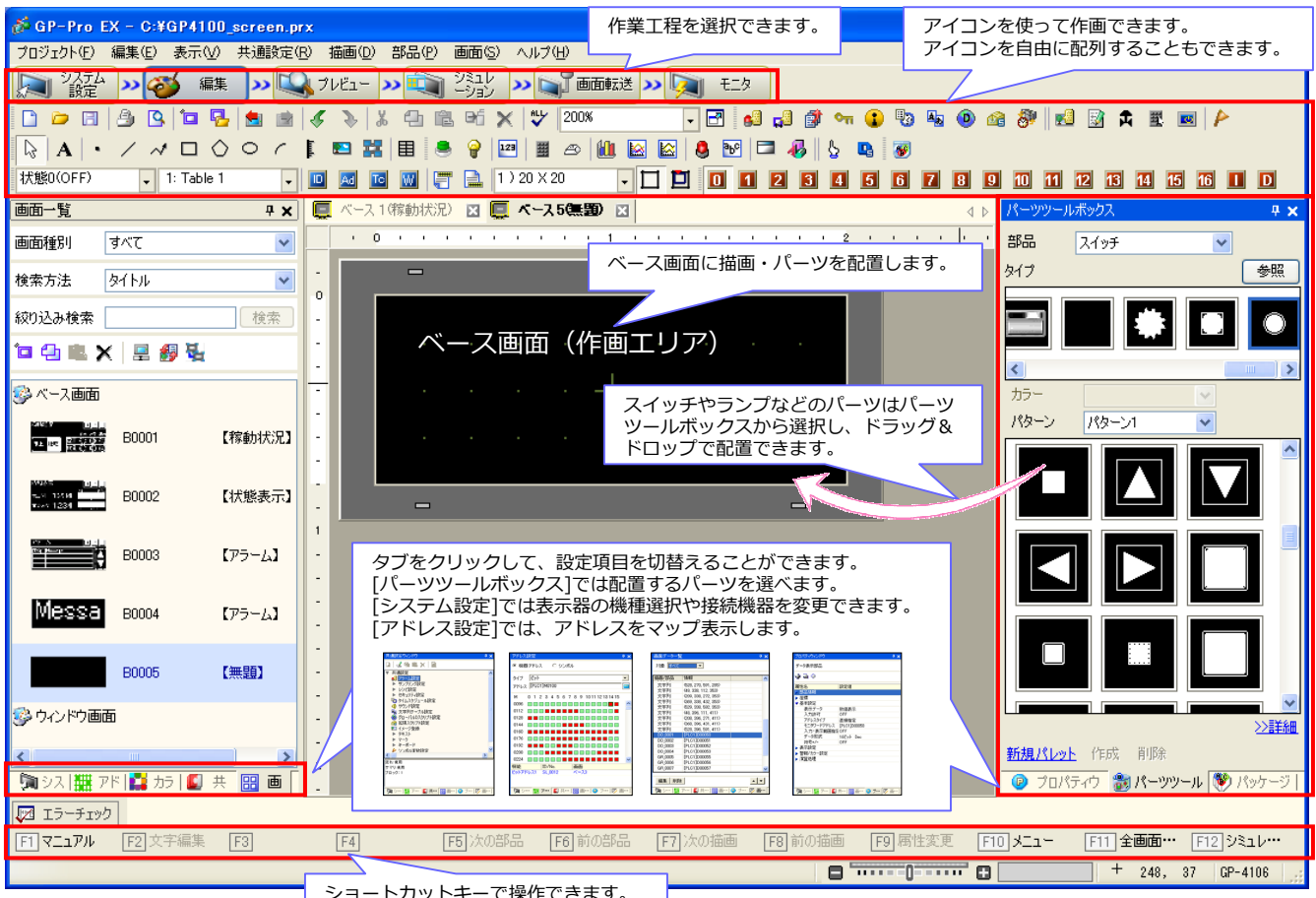
→ <http://www.proface.co.jp/otasuke/>

3. メインウィンドウの起動

[ベース画面作成]をクリックして、メインウィンドウが表示されます。

GP-Pro EXメインウィンドウ

GP-Pro EXのメインウィンドウからすべての操作ができます。



テキスト入力と描画

PCの多彩なWindowsフォント（イメージフォント）を活用してテキストを配置すれば、きれいで見やすい画面が作成できます。また描画機能では、画面上に枠を配置して、レイアウトの装飾を行えます。

小型でも高解像度なので、小さな文字もきれいに表示できます。

スイッチには、銘板機能を設定すると、かんたんにテキスト入力できます。

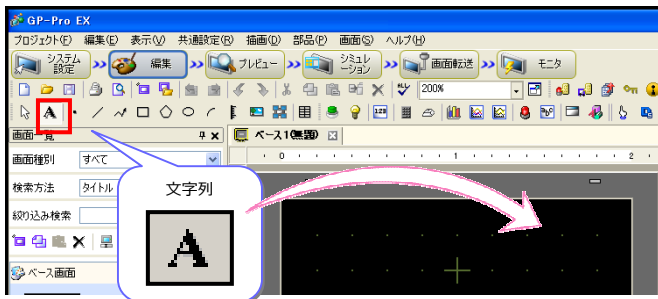
四角、直線、円などの描画機能を活用すると、画面を見栄えよくできます。



テキストの入力と描画方法

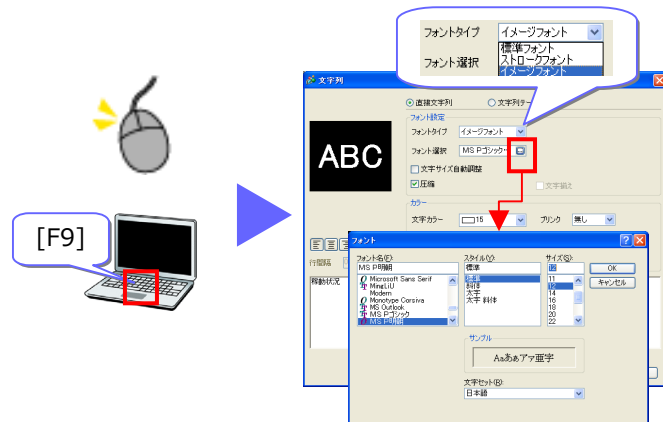
1. テキストの配置

メインウィンドウの文字列アイコンをクリックして、ベース画面上に文字を配置します。



2. テキストの設定

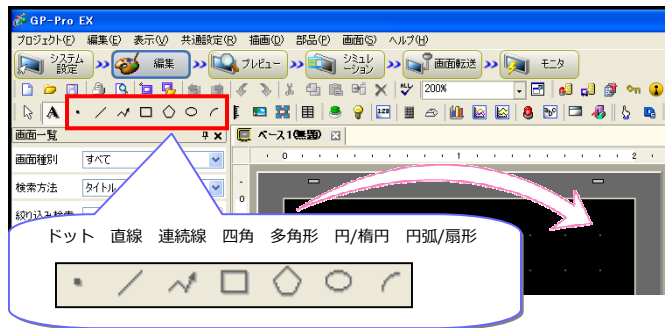
配置したパーツをダブルクリックするか、または[F9]キーを押して設定画面を開きます。文字列設定では、フォントタイプやフォントサイズなどを設定できます。



※文字列は、アイコン以外にメニューの[描画]からも設定できます。

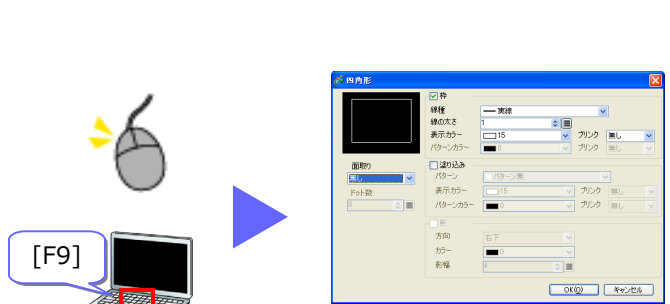
1. 描画機能の選択

メインウィンドウから使いたい描画アイコンをクリックして、ベース画面上に描画を配置します。



2. 描画の設定

配置された描画をダブルクリックするか、または[F9]キーを押して設定画面を開きます。描画の色や形状を設定できます。



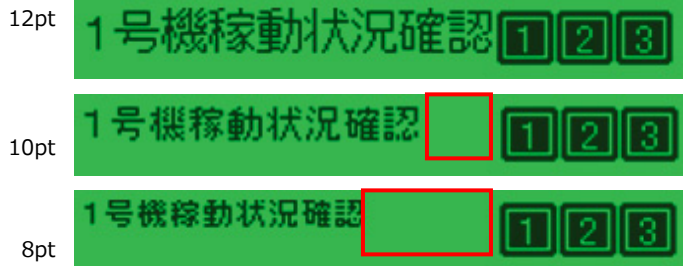
※描画は、アイコン以外にメニューの[描画]からも設定できます。

Windowsフォント（イメージフォント）は、8ptから72ptまで設定可能です。



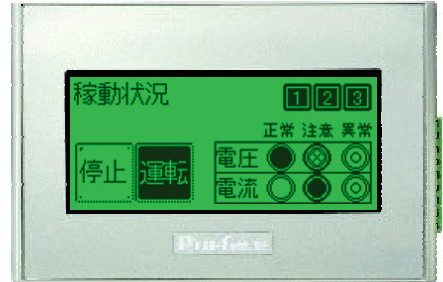
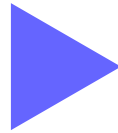
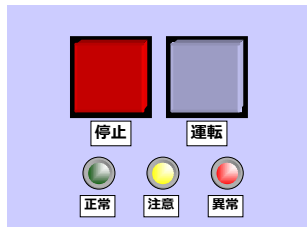
200×80ドットの画面は、テキストの大きさを調整すると、より多くのパーツを配置できます。

MS ゴシック 原寸イメージ →

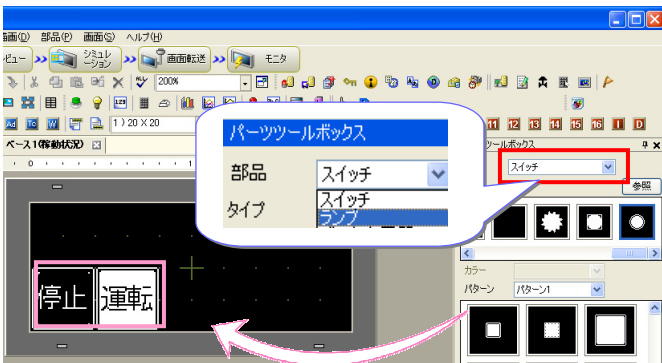


スイッチ・ランプを作画

スイッチ・ランプを作画します。
押しボタンスイッチやトグルスイッチ、ランプを選択して、
画面上に1ドット単位で自由に配置できます。



スイッチ・ランプの設定方法



1. スイッチをベース画面へ配置

パーツツールボックスをメインウィンドウに表示します。
(→4ページ参照)
パーツツールボックスからスイッチパーツを選択して、
ベース画面上にドラッグ&ドロップで配置します。

サポートサイト「おたすけPro!」から、16階調パーツが
ダウンロードできます。



2. スイッチの設定

パーツをダブルクリックすると設定画面を開きます。

スイッチの種類はアイコンをクリックして変更できます。



ビットスイッチ ワードスイッチ 画面切替 特殊スイッチ セレクタスイッチ

ビットスイッチの場合、ビットアドレスとビット動作を
設定します。ビット動作のデフォルトはモーメンタリです。

3. スイッチに機能を付加

[スイッチ共通]では、スイッチの動作条件を設けて誤操作
防止機能を付加できます。

- ・インターロック機能
指定ビットがON、またはOFFの時にだけ操作ができます。
- ・デレイ機能
タッチ後に一定秒数が経過してから動作します。

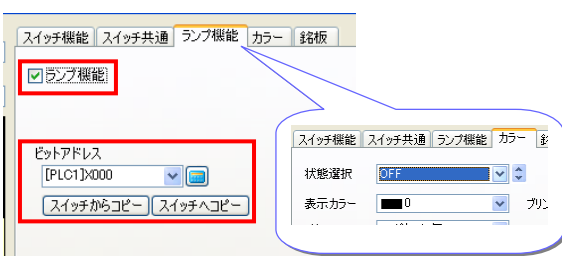
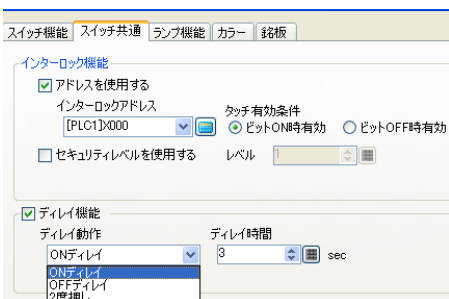
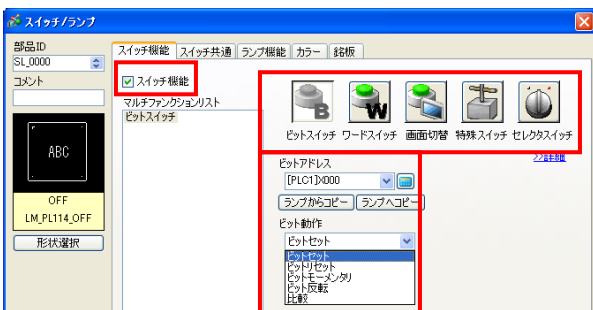
4. ランプの設定

パーツツールボックスからランプを配置するか、設定画面で
[ランプ機能]にチェックを入れると、パーツをランプとして
使用できます。

スイッチと同じビットアドレスを設定すると、
スイッチとランプが同じタイミングで変化します。

[カラー]と[銘板]のタブでは、ON/OFF時の表示色や銘板の
テキストを設定できます。

※スイッチは、アイコン以外にメニューの[部品]からも設定できます。

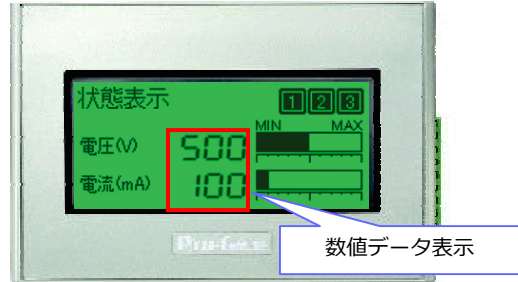
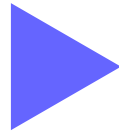


数値ディスプレイを作画

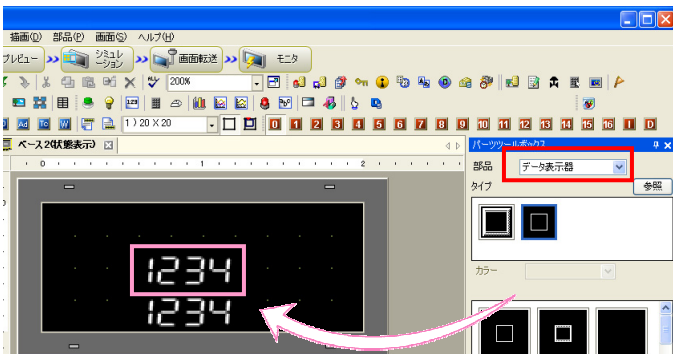
接続機器に格納された数値を表示できます。

GP-Pro EXでは、データ表示器パーツを配置することで数値データを表示します。

数値をキーボードで入力変更したり、テキストの表示にも対応しています。



データ表示器の設定方法



1. データ表示器をベース画面へ配置

パーツツールボックスをメインウィンドウに表示します。

(→4ページ参照)

パーツツールボックスからデータ表示器を選択して、ベース画面上にドラッグ&ドロップで配置します。



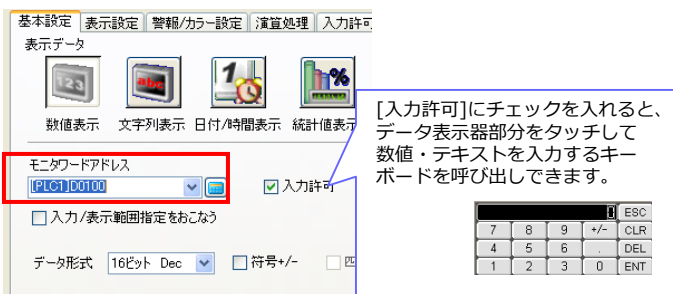
2. データ表示器の設定

パーツをダブルクリックして、設定画面を開きます。

[文字列表示]を選択すると、テキストデータを表示します。



たとえば接続機器に格納されたHex形式のエラーコードをASCII形式でテキスト表示できます。



3. 接続機器側のアドレス入力

モニターワードアドレスには、接続機器側で数値が格納される先のアドレスを入力します。



4. フォントの設定

表示設定のタブを選択して、フォントタイプ、フォントサイズ、表示桁数を設定します。

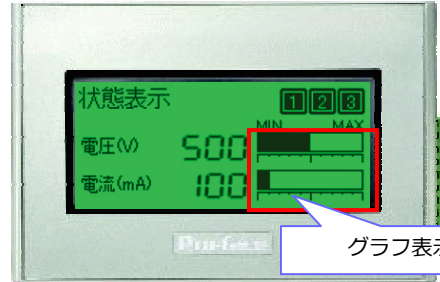
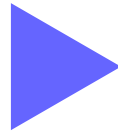
きれいなピクチャフォントやパソコン上のWindowsフォント（イメージフォント）を活用して、より見やすくわかりやすい数値表示ができます。



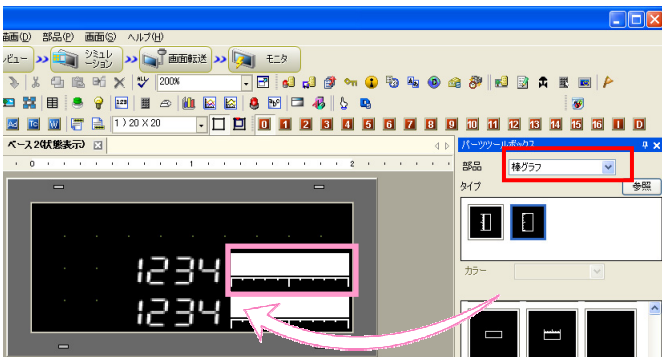
※データ表示器は、アイコン以外にメニューの[部品]からも設定できます。

装置の状態をわかりやすくグラフ表示

数値情報を棒グラフや折れ線グラフなどで表示することで、視覚的に把握できる画面を作成できます。



棒グラフの設定方法

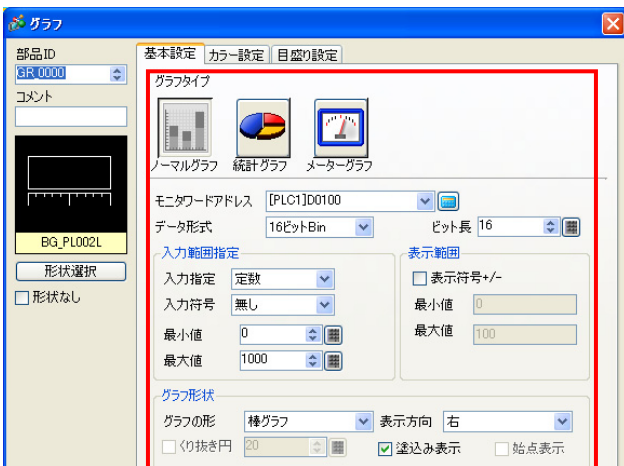


1. 棒グラフをベース画面へ配置

パーツツールボックスをメインウィンドウに表示します。
(→4ページ参照)
パーツツールボックスから棒グラフを選択して、ベース画面上にドラッグ&ドロップで配置します。

2. 棒グラフの設定

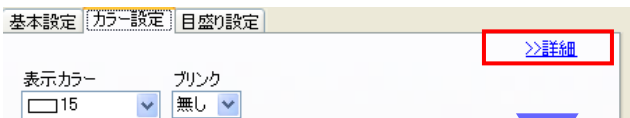
パーツをダブルクリックして、設定画面を開きます。



- ・グラフタイプの指定
グラフの種類を選択できます。
- ・モニターワードアドレスの指定
数値データが格納された接続機器側のアドレスを入力します。
- ・データ形式
Dec/BCD/Floatの数値データをグラフ表示できます。
- ・範囲の指定
最小値から最大値までを100%のグラフで表示します。

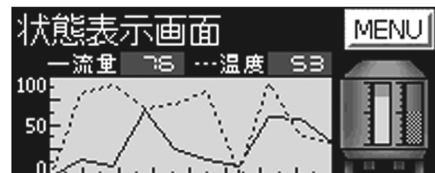
3. カラーの設定

表示色を設定します。[詳細]をクリックすると、上限・下限で色の階調を変えて視認性を上げるなど、より細やかな色設定ができます。



16階調を活かしたグラフ表示ができます！

実線と破線の設定や、16階調表示を活かして、複数チャネルの折れ線グラフを一つの画面できれいに表示できます。

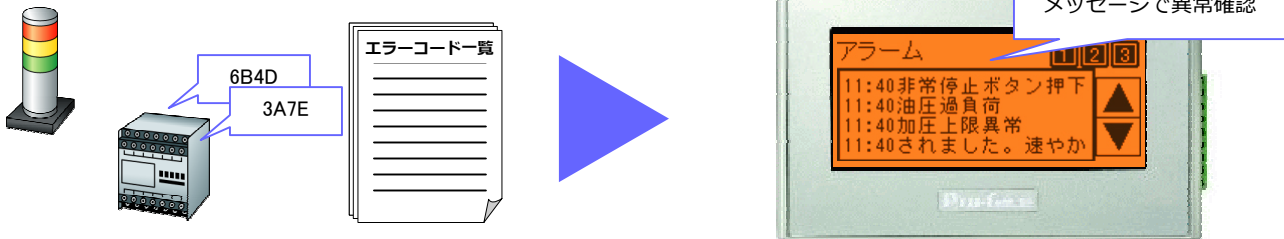


※棒グラフは、アイコン以外にメニューの[部品]からも設定できます。

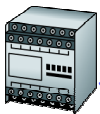
①エラーコードをメッセージで一覧表示

アラームの設定をします。

接続機器のビットまたはデータの変化をメッセージで表示できます。



アラームの設定方法: 各ビットアドレスに該当するメッセージを登録します。

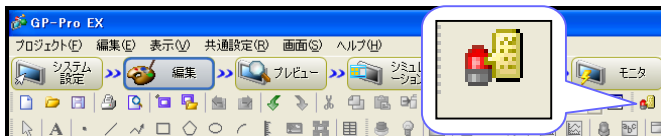


M0000アドレスがONになった時、「非常停止ボタン押下」を表示する。

M0001アドレスがONになった時、「油圧過負荷」を表示する。

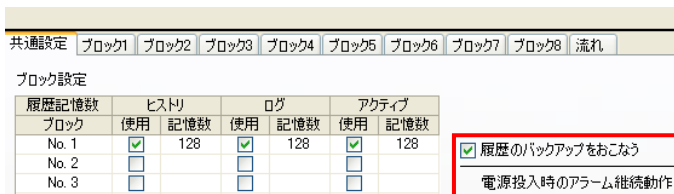
M0002アドレスがONになった時、「加圧上限異常」を表示する。

M0003アドレスがONになった時、「異物が検出されました。速やかに取り除いてください。」を表示する。



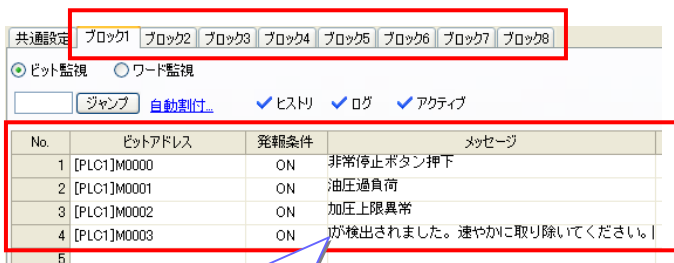
1. アラーム設定画面を開く

アラーム設定のアイコンをクリックして、アラーム設定画面を開きます。



2. 履歴のバックアップ設定

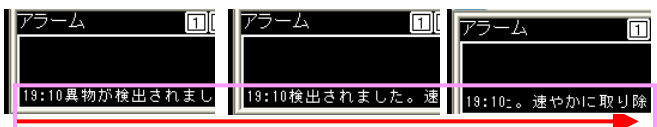
[履歴のバックアップをおこなう]にチェックを入れると、GP4100シリーズの電源をOFFにしてもアラームを保持できます。



3. アラームの設定

ビットアドレス・発報条件・アラームメッセージを登録します。アラーム情報の登録は、各ブロックにアドレスとメッセージを設定すると、最大8ブロックまでグループに分けて登録できます。

アラームメッセージに長文でテキスト入力しても、画面上では全文を流れメッセージで表示できます。



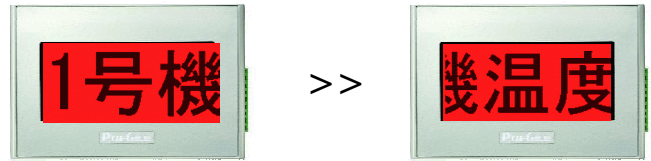
[ワード監視]に変更すると、接続機器のデータ値の変化に応じてメッセージを登録できます。

ビット監視 ワード監視

[ビット監視]では、各ビットアドレスにメッセージを登録します。

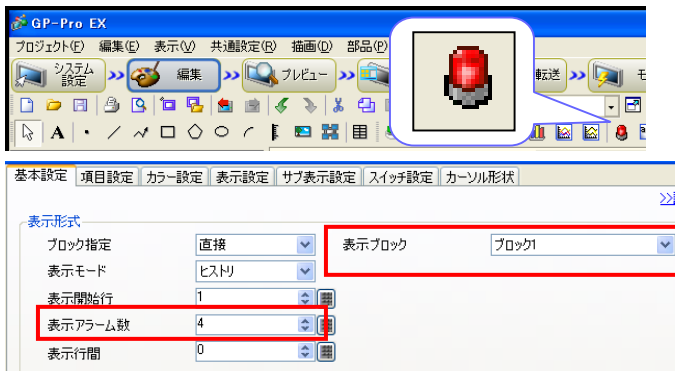
※アラーム設定は、アイコン以外にメニューの[共通設定]からも設定できます。

②エラーコードをメッセージで一覧表示



ひとつのメッセージを画面いっぱいに表示し、メッセージディスプレイとして使用できます。

アラームの設定方法: メッセージの表示方法を設定します。



1. アラームをベース画面へ配置

アラームのアイコンをクリックして、ベース画面上にアラームを配置します。配置されたパーツをダブルクリックして、設定画面を開きます。

2. アラームの設定

[表示ブロック]では、表示させるアラームのブロックを選択します。

[表示アラーム数]では、一度にいくつのアラームメッセージを表示させるか設定できます。

メッセージディスプレイとして使用するには、表示形式の[表示アラーム数]を1に設定します。

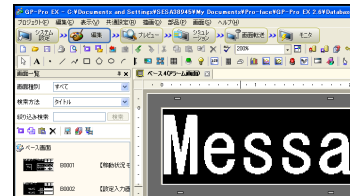
3. アラーム文字数の設定

一行に表示される各項目の文字数を設定します。

[日付][発報][確認][復旧]を選択すると、フォーマットに従って日付と時刻がアラームの動作ごとに表示されます。

メッセージディスプレイとして使用するには、表示文字数で[メッセージ]だけをチェックします。

アラームメッセージをベース画面に大きく配置できます。



4. アラームの表示設定

アラームの色、フォント、表示枠を設定します。

イメージフォントを使って、きれいで見やすいメッセージ表示ができます。

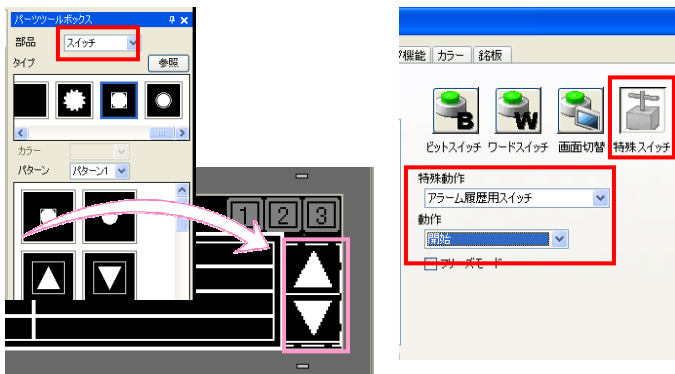
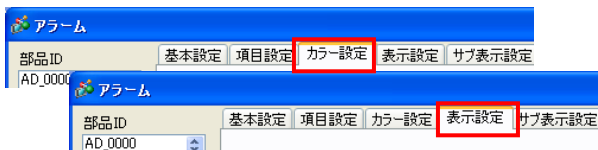
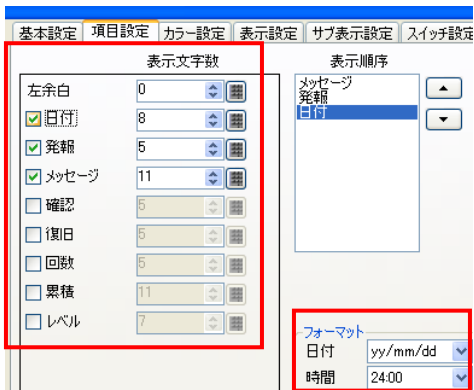
5. スクロールスイッチの配置と設定

複数のアラームメッセージをスクロールして表示するには、特殊スイッチを使用します。パーツツールボックスからスイッチパーツを選択して、ベース画面上にドラッグ&ドロップで配置します。パーツをダブルクリックすると、アラーム履歴用スイッチが設定できます。以下のアラーム履歴用スイッチを配置すると、スクロール表示できます。

[開始] : アラーム履歴用スイッチを有効にします。
[上移動][下移動] : タッチするごとに上下スクロールします。

[開始] スwitchの形状を[形状なし]にして[上移動][下移動]スイッチの上に重ねると、配置スペースを省略できます。

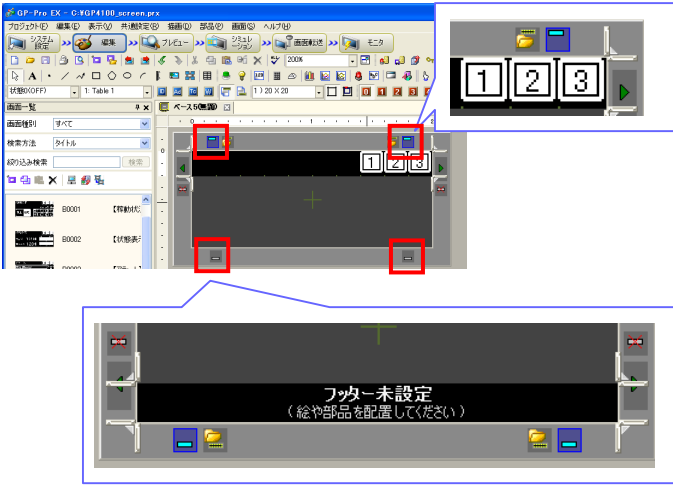
※アラームは、アイコン以外にメニューの[部品]からも設定できます。



作画をサポートする便利な機能

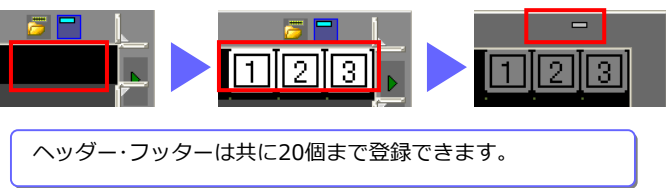
ヘッダー・フッター機能を使うと、作画工数を削減できます。
 起動画面を登録すると、待機時間を活用できます。
 文字列テーブルを使うと、多言語画面をかたんに作成できます。

①ヘッダー・フッター機能でよく使うパーツを他の画面でも活用



1. ヘッダー・フッターの設定
 画面上の「」をクリックしてヘッダー・フッターの編集画面に切り替えます。再び「」をクリックすると、もとのベース画面の編集に戻ります。

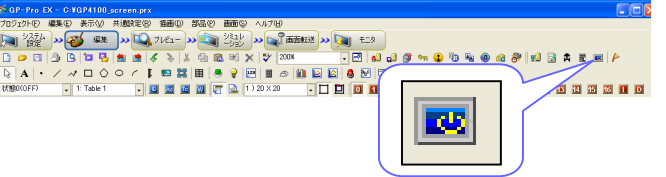
2. 共通パーツの設定
 ヘッダー・フッター編集画面で画面切替スイッチなど、複数画面に共通で使うテキストやパーツを配置できます。



②起動画面にオリジナルの画像を登録



1. 起動画面登録
 [起動画面登録]のアイコンをクリックして、起動画面を登録できます。
 W200×H80 pixels (W80×H32 mm) が既定サイズです。



2. 起動画面の表示
 GP4100シリーズの電源をONすると、画面表示します。
 16階調でJPEG、BMP画像をきれいに表示できます。
 ※起動画面登録は、アイコン以外にメニューの[共通設定]からも設定できます。

③2ヶ国以上の言語を一発切替

言語切替設定 表示するテーブルを選択 オプション設定 ユニシティ

1: 日本語 Table 1	2: 欧米 Table 2	3: 中国語(簡体字) Table 3	4: 韓国語 Table 4
他言語に切替えてもきれいに!	Clearly display any language!	为其他语言转换也漂亮!	타국어로 바꾸어도 예쁘게!
文字表示③	Text Display<3>	文字表示3	문자표시 3
設定温度を10度上げて下さい	Raise the temp. to 10C	请提高设定温度10度	설정 온도를 10도 올려주세요.
圧力弁を開放します	Open the pressure valve	打开压力口才	압력 밸브를 개방합니다.
タイマーを初期値に戻します	Set the timer to default	到初始值还计时器	타이머를 초기값으로 설정합니다.

戻る 文字表示③ 次へ 日本語

他言語に切替えてもきれいに! **D I E C K**

設定温 Back Text Display<3> Next 英語

圧 Clearly display any language! **D I E C K**

タイ R 上面 文字表示3 下面

Se 为其他语言转换也漂亮! **D I E C K**

中国語 请提高设定温度10度

앞 문자표시 3 다음

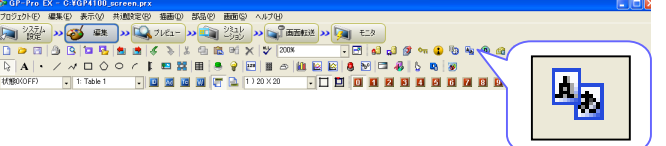
到타국어로 바꾸어도 예쁘게 **D I E C K**

韓国語 설정 온도를 10도 올려주세요.

압력 밸브를 개방합니다

타이머를 초기값으로 설정합니다.

1. 文字列テーブルの設定
 [文字列テーブル設定]のアイコンをクリックして、文字列テーブルに各言語メッセージを入力します。



2. 言語切替設定と操作
 [言語切替設定]の切替制御アドレスに文字列テーブルの数値を格納して、各言語を切替えて表示します。

言語切替設定

言語切替機能を使用する

切替制御アドレス: [#INTERNAL]USR00100

初期テーブル: Table 1

No.	テーブル名	言語
1	Table 1	日本語

※文字列テーブルは、アイコン以外にメニューの[共通設定]からも設定できます。

作画データをPCで動作確認（シミュレーション）

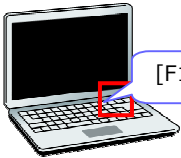
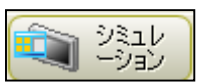
画面データを転送する前に、PC上で画面の動作確認を行うことができます。

GP4100シリーズ本体も、USBデータ転送ケーブルもありません。



シミュレーション機能の使用方法

[シミュレーション]アイコンをクリックするか、PC上で[F12]を押すとシミュレーションが起動します。



[F12]

The screenshot shows the 'GP-Pro EX Simulation' window. The '稼動状況' (Operation Status) panel is highlighted with a red box and labeled ①. It contains buttons for '停止' (Stop) and '運転' (Run), and indicators for '電圧' (Voltage) and '電流' (Current). Below this, the '対象' (Target) table is visible, with the '状態' (Status) column highlighted by a red box and labeled ②. The table lists various addresses and their current states.

画面	ID/No./行	機能	アドレス	状態
ベース 1	SL_0000	ビットアドレス	[PLC1]X000	<input type="checkbox"/> (OFF)
ベース 1	SL_0000	ビットアドレス1	[PLC1]X000	<input type="checkbox"/> (OFF)
ベース 1	SL_0001	ビットアドレス	[PLC1]X000	<input type="checkbox"/> (OFF)
ベース 1	SI_0001	ビットアドレス1	[PLC1]X000	<input type="checkbox"/> (OFF)

①スイッチの操作

スイッチは、マウスでクリックして動作確認できます。



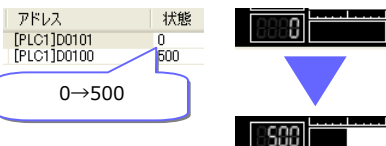
②ランプのON/OFFを確認

ランプは、登録しているビットアドレスの状態を変更して、動作確認できます。



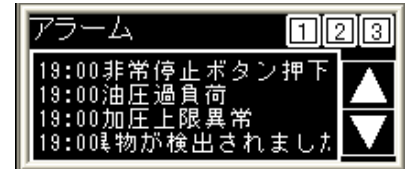
OFF→ON

データ表示器やグラフは、登録しているワードアドレスの値を変更して、動作確認できます。



③アラームメッセージの確認

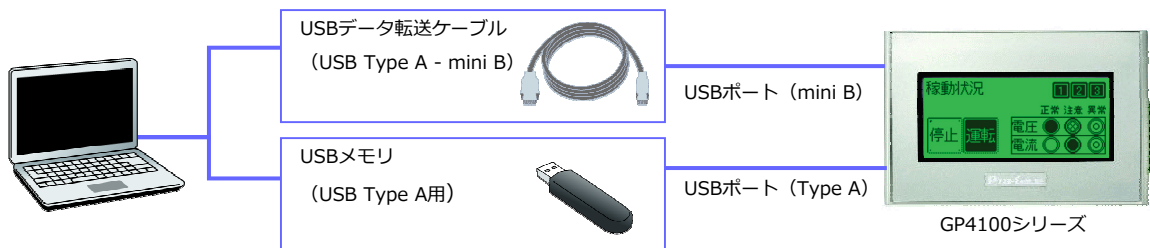
アラームは、[アラーム設定]から登録したアドレスの状態を変更して、動作確認できます。



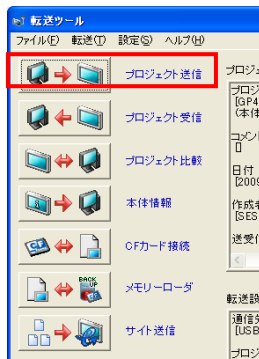
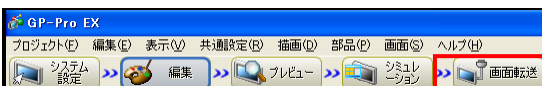
長いアラームメッセージも、正常に流れメッセージで表示されるか確認できます。

GP4100シリーズへの画面転送

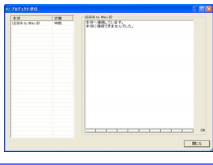
画面データをUSBデータ転送ケーブル、またはUSBメモリを使ってGP4100シリーズに転送します。



USBデータ転送ケーブルで転送



転送状況が表示され、転送が実行されます。



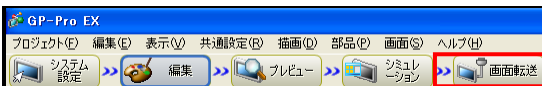
1. 転送ツールの起動

[画面転送]のアイコンをクリックして、転送ツールのウィンドウを表示します。

2. 画面データの転送

[プロジェクト送信]のアイコンをクリックすると、転送状況が表示され、転送が実行されます。

USBメモリで転送



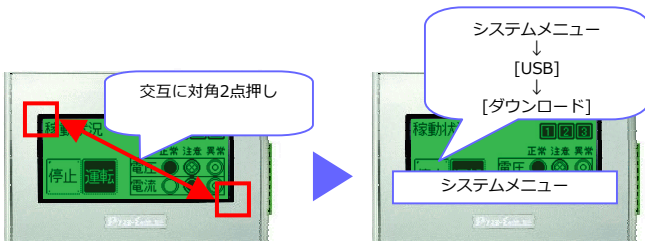
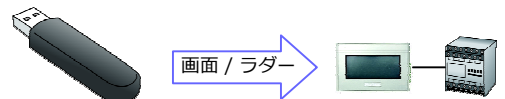
1. 転送ツールの起動

[画面転送]のアイコンをクリックして、転送ツールのウィンドウを表示します。

2. USBメモリへ画面データを保存

[メモリーローダ]のアイコンをクリックして、[バックアップデータの作成]を行います。PC上の出力先（ドライブ名）を設定し、転送用の画面データを作成します。

東芝機械社製PLC(TC mini / TC200)は、USBメモリでGP4100を介してラダー転送できます。



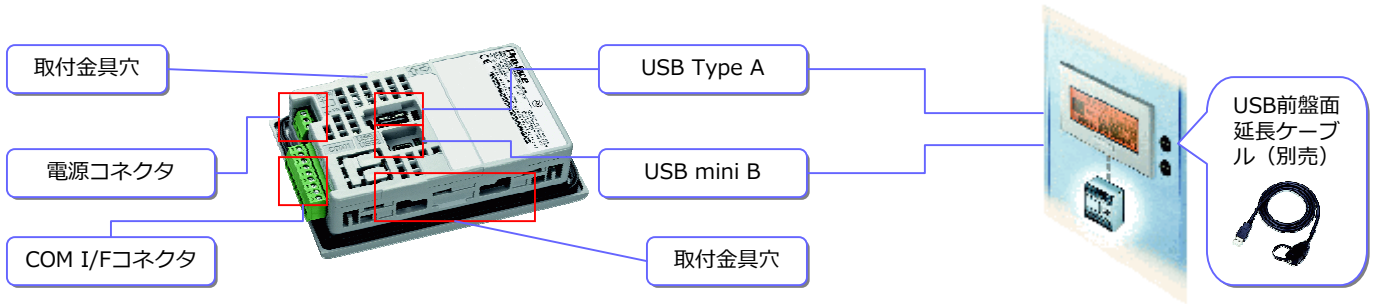
3. USBメモリでGP4100シリーズへダウンロード

GP4100シリーズでシステムメニューを起動して、USBメモリからダウンロードします。システムメニューは、本体の対角線上の隅2点を交互に押すと、画面の下側に表示されます。

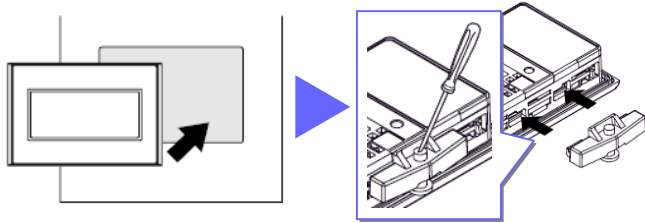
操作盤へ設置する際の注意事項

GP4100シリーズに取付金具を使って操作盤に取付け、電源と通信ケーブルを接続します。

(注意：感電防止のため、必ず電源が供給されていない状態で行ってください)

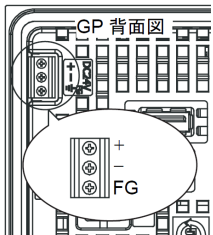


取付金具の注意事項



- パネル厚許容範囲は、1.0mm ~ 5.0mm です。

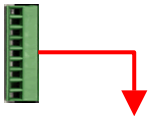
電源ケーブル結線の注意事項



電源ケーブルの太さ	単線 : 0.75 ~ 1.5mm ² より線 : 0.75 ~ 1mm ² (18 - 16 AWG)
芯線の種類	単線またはより線
芯線の長さ	5mm

- 電源コネクタは、GPから取り外すことはできません。無理に動かしたり、ひっぱったりしないでください。電源コネクタの破損のおそれがあります。

通信ケーブル結線の注意事項



RS-232C タイプ				RS-422/485 タイプ			
シール	信号名	方向	内容	シール	信号名	方向	内容
CI	CI(RI)	入力	被呼表示	CSB	CSB	入力	送信可 B (-)
CD	CD	入力	キャリア検出	CSA	CSA	入力	送信可 A (+)
CS	CS(CTS)	入力	送信可	ERB	ERB	出力	データ端末レディ B (-)
RS	RS(RTS)	出力	送信要求	ERA	ERA	出力	データ端末レディ A (+)
SG	SG	-	信号グランド	SG	SG	-	信号グランド
DR	DR(DSR)	入力	データセットレディ	RDB	RDB	入力	受信データ B (-)
ER	ER(DTR)	出力	データ端末レディ	RDA	RDA	入力	受信データ A (+)
RD	RD(RXD)	入力	受信データ	SDB	SDB	出力	送信データ B (-)
SD	SD(TXD)	出力	送信データ	SDA	SDA	出力	送信データ A (+)

- PLC通信ケーブルは、対象PLCごとにオプション品をご用意しています。(→15ページ参照)

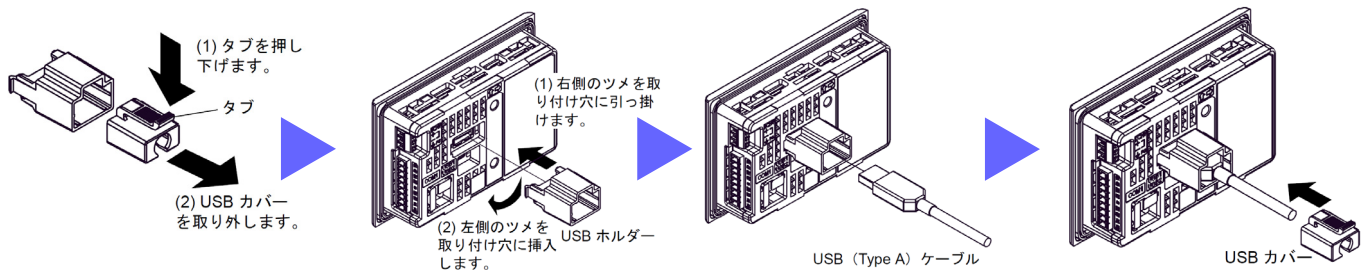


その他のPLCとの結線は、機器接続マニュアルをご参照ください。コネクタの配線は、必ずコネクタをGPから外した状態で行ってください。感電のおそれがあります。

通信ケーブルの太さ	0.14 ~ 1.5mm ² (28 - 16 AWG)
芯線の状態	単線またはより線
芯線の長さ	7 mm

USBクランプ (別売) の注意事項

USBクランプ (別売) は、Type A用とmini B用があります。
 USB インターフェイスに接続したUSB ケーブルが振動などにより抜けることを防止するために使用します。



- ・ USB Type A用のUSBクランプ (別売) は、USBカバーとUSBホルダーを分離してから取り付けてください。

USB前盤面延長取り付けケーブル (別売) の注意事項

USB前盤面延長取り付けケーブル (別売) を使うと、盤を開けずにUSBインターフェイスを使用できます。

USBメモリ (USB Type A)

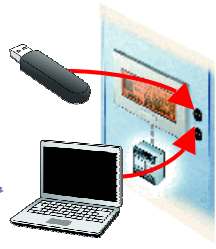
- ・ 画面転送
- ・ ラダー転送 (東芝機械社のみ)

パソコン (USB miniB)

- ・ 画面転送
- ・ ラダー転送 (パススルー)

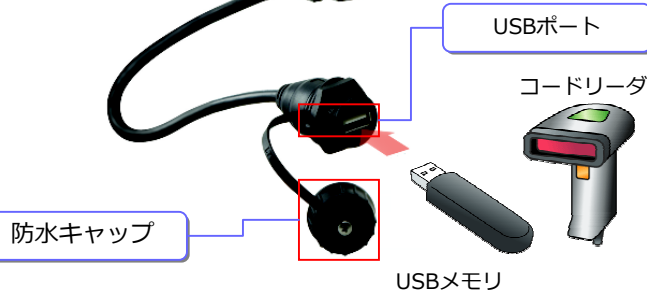
USBポート (Type A) にUSBコードリーダを接続して、かんたんな設定でデータ読み取りが可能です。

※USBコードリーダ使用時は、セルフパワーのUSBハブ経由で電源供給してください。



- ・ 本ケーブルは、防水キャップを装着したときの表側のみがIP65fに準拠します。
- ・ 防水キャップはしっかり締め付けてください。

[CA5-USBEXT-01]



GP4100シリーズ本体、オプション一覧

■本体

製品名	型式	バックライト	液晶	シリアル	電源
GP-4105G	GP4105G1D	3色 (緑/橙/赤)	3.4型 STNモノクロ	RS-232C	DC24V
GP-4105W	GP4105W1D	3色 (白/桃/赤)			
GP-4106G	GP4106G1D	3色 (緑/橙/赤)		RS-422/485	
GP-4106W	GP4106W1D	3色 (白/桃/赤)			

■オプション品

製品名	型式	製品概要
GP-Pro EX Ver.2.6	EX-ED-V26	画面作成ソフトウェア *1
USBデータ転送ケーブル (USB Type A/miniB 1.8m)	ZC9USCBMB1	パソコンUSBから表示器 (USB miniB) へ画面を転送するケーブル
三菱PLC Qシリーズ直結ケーブル (3m)	ZC9CBQ31	三菱電機製PLC QシリーズのCPUプログラミングポートに直結するケーブル
三菱PLC FXシリーズ直結ケーブル (5m)	ZC9CBFX51	三菱電機製PLC FXシリーズのCPUプログラミングポートに直結するケーブル
三菱PLC FXシリーズ直結ケーブル (1m)	ZC9CBFX11	三菱電機製PLC FXシリーズのCPUプログラミングポートに直結するケーブル
三菱PLC Aシリーズ直結ケーブル (5m)	ZC9CBA51	三菱電機製PLC A/QnAシリーズのCPUプログラミングポートに直結するケーブル
パナソニック電工PLC FPシリーズCPU直結ケーブル (2m)	ZC9CBFP21	パナソニック電工PLC FPシリーズのCPUポートに直結するケーブル
USB前盤面取付け延長ケーブル (USB miniB 1m)	ZC9USEXMB1	USB (miniB)ポートを操作盤の前面に装着する延長ケーブル
USB前盤面取付け延長ケーブル (USB Type A 1m)	CA5-USBEXT-01	USB (Type A)ポートを操作盤の前面に装着する延長ケーブル
USB-シリアル (RS-232C) 変換ケーブル (50cm)	CA6-USB232-01	USB (Type A)ポートとRS232Cを接続するケーブル
画面保護シート	ZC9DS31	表示面の保護および防汚用の使い捨てシート (5枚入り)
USBクランプ TypeA(1ポート)	ZC9USCL1	USBケーブルの脱落を防止するクランプ (USB Type A 1ポート用、5個入り)
USBクランプ Type miniB(1ポート)	ZC9USCLMB1	USBケーブルの脱落を防止するクランプ (USB miniB 1ポート用、5個入り)

※1 GP4100シリーズをご使用の際は、Limited Editionのみで作画・転送が可能です。GP4100シリーズ以外のPro-face製品をご使用の際にご購入ください。

■メンテナンス品 ※予め本体に同梱されています。破損、損失した場合にお求めください。

製品名	型式	製品概要
取付金具	ZC9AF31	表示器取り付け用固定金具 (2個入り)
防滴パッキン	ZC9WG31	組込盤取り付け部から水滴などの浸入を防ぐパッキン (1個入り)
COM I/Fコネクタ	ZC9CMC1	シリアルI/F用コネクタ (1個入り)

Webで、電話で、お客様を強力にバックアップ！



Webサポート

画面作成の手間を大幅に軽減するサポートサイトをご利用いただけます。

役立つダウンロードコンテンツが10,000以上！
表示器専門メーカーの工数削減サポートサイト

おたすけPro!
otasuke

マニュアル・取説	マニュアル・取説	カタログPDF
Limited Edition ダウンロード	16階調パーツ	CAD図面

輸出時に必要な書類(パラメータシート・該非判定書)もダウンロード！



カンタン無料登録

おたすけPro!

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

サポートダイヤル

サポートダイヤルは年間361日受付可能、お客様を技術面でサポートいたします。

平日ダイヤル(受付時間9:00~17:00) ※サポートダイヤルは年末年始(12月31日~1月3日)は、お休みさせていただきます。

大阪: (06)6613-3115 東京: (03)5821-1105 名古屋: (052)932-4093

平日ダイヤル(受付時間17:00~19:00)と土日祝ダイヤル(9:00~17:00)は (06)6613-3206 まで。

国内営業拠点

全国14ヶ所の国内営業拠点でお客様をフォローいたします。

東京支社: 〒111-0054 東京都台東区鳥越1-8-2 鳥越ビル5F
TEL.03-5821-1101 FAX.03-5821-1110
中部支社: 〒461-0004 名古屋市中区葵3-15-31 住友生命千種ニュータワービル6F
TEL.052-932-6610 FAX.052-932-6802
西日本支社: 〒559-0031 大阪市住之江区南港東8-2-52
TEL.06-6613-3111 FAX.06-6613-5888
豊田支店: 〒471-0833 豊田市山之手5-73-1山之手ビル5F
TEL.0565-24-1601 FAX.0565-24-1607
仙台営業所: 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-12-15松栄宮城野ビル1F
TEL.022-257-1209 FAX.022-257-1210
北関東営業所: 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1サンフィール大宮・宮原3F
TEL.048-654-1171 FAX.048-654-1281
神奈川営業所: 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-3-1 新横浜アーバンスクエア6F
TEL.04-7163-5501 FAX.045-473-3594

静岡営業所: 〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-6大同生命静岡ビル6F
TEL.054-273-1148 FAX.054-273-1149
長野営業所: 〒390-0852 松本市島立833-1タケトヨビル2F
TEL.0263-48-1116 FAX.0263-48-5552
北陸営業所: 〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29サン金沢ビル7F
TEL.076-264-1101 FAX.076-264-1125
岡山営業所: 〒700-0975 岡山市北区今4-14-5プレゼンテ今ビル2F
TEL.086-244-8301 FAX.086-244-8977
広島営業所: 〒732-0052 広島市東区光町2-5-5NOK広島ビル4F
TEL.082-262-4017 FAX.082-262-9270
四国営業所: 〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2高松第一生命ビルディング2F
TEL.087-823-1222 FAX.087-823-1229
九州営業所: 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-15-19KS・T駅東ビル6F
TEL.092-441-5236 FAX.092-441-6032

株式会社 デジタル

本社: 〒559-0031 大阪市住之江区南港東8-2-52
TEL.06-6613-1101(代) FAX.06-6613-5888

●Pro-faceは、株式会社デジタルの日本、米国およびカナダ、ヨーロッパ、その他の国における登録商標です。
●その他、本紙に記載している他社登録商標は、本紙掲載製品を紹介する目的のみでの使用であり、商標権を侵害する意図があるものではありません。

●製品のご寿命は・・・